

## たがさぽからのお知らせ

たがさぽが企画する「一歩ふみだすきっかけ」をご紹介します

### いちから塾 「今だからやりたい!! 小さなアクション講座」

「コロナ禍」の中、自分や身の回りの「困った」「大変だ」ということを話してみませんか。そこから、「より暮らしやすくする」ための小さなアクションを見つけましょう。

日時 ○木曜コース:2021年1月14日・28日(午後7時~午後8時30分)

○土曜コース:2021年1月16日・30日(午前10時30分~12時)

※両コースとも、同じ内容で行う2回連続講座です。

会場 多賀城市市民活動サポートセンター 3F 301会議室

※オンラインでの参加もOK!

定員 各コース8名(先着順)

参加費 無料

問合せ 022-368-7745

(多賀城市市民活動サポートセンター)



申込みフォーム



## ヒント from たがさぽPress

たがさぽのブログから、地域づくりに役立つ記事をご紹介します!

01

2020年9月17日(木)掲載

子どもたちの「オンライン」の居場所を提供しています!

02

2020年10月23日(金)掲載

多賀城の多文化共生を考える  
日本語サポーター講座!

03

2020年11月14日(土)掲載

中高生が主役の  
NPO応援プロジェクト



“たがさぽPress”とは?

たがさぽスタッフによるブログ。  
興味がわいたら「たがさぽPress」へ!

<https://blog.canpan.info/tagasapo/>



### “tag”のアンケートのお願い



今後の誌面づくりの参考にしたいと思いますので、ぜひご協力をお願いします!

また、以下のような情報もお待ちしております!

- 自分たちの団体を取材してほしい
- ユニークな活動や、地域のためにがんばっている団体・人を知っている
- こんな話題を取り上げてほしい



発行:多賀城市市民活動サポートセンター

〒985-0873 宮城県多賀城市中央2丁目25-3

(多賀城市文化センター北隣・上下水道部向かい)

電話:022-368-7745 / FAX:022-309-3706

編集:NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター



ヒト・コト・モノ を届けます

「多賀城発で多賀城着。」

「tag(たっぐ)」は多賀城をもっとよいまちにしていきたい、社会や地域のために何か活動したいという方を応援するフリーペーパーです。

たがさぽちゃん



2020 Winter  
vol.92  
take free

## 仲間と一緒に! 子どもたちのコロナ禍のチャレンジ



わたしのチャレンジは  
「お風呂掃除と洗濯物をたたむ」です。  
家族のみんなも  
喜んでくれました。

わたしのチャレンジは  
「リビングの掃除」です。  
部屋がきれいので気持ちよく  
過ごせました。

毎年8月に開催されている「みなとのまち100km徒歩の旅」。今年は新型コロナウイルスの影響で中止となりましたが、小学生や保護者からのリクエストで「みなチャレ〜小さな行動は大きな力〜」を行いました。子どもたちとサポートの学生スタッフは、9月の1ヶ月間チャレンジする目標をひとつ決めて毎日取り組みました。あきらめそうになった時も、学生スタッフからのオンラインでの励ましで仲間とともに乗り越えることができました。

これまでとは違う形になりましたが、参加した子どもたち・学生スタッフはやり続けることの大切さ、家族の役割にあらためて気づくなど貴重な1か月のチャレンジとなりました。

「みなとのまち100km徒歩の旅」とは?  
NPO法人みやぎみなとまちづくり市民会議が子どもたちの自立心と目標達成力を育てる目的で毎年8月に開催しています。参加対象は小学4~6年生の子どもたちで、多賀城を含む二市三町を4泊5日かけて歩きます。

チャレンジ期間中に送付された通信にはスタッフからの励ましの言葉が。

道を一步一步進むように、一日一日のチャレンジが見えるように記録。



webサイト、公式SNSはこちらから!

NPO法人みやぎみなとまちづくり市民会議 検索



「tag」には、多賀城(tagajo)の頭3文字、みんながタッグを組んで地域をつくる、多賀城に新しいタグ(価値)をつける、という意味が込められています。



@tagasapo

たがさぽのツイッターへのフォローをお願いします!



<https://www.tagasapo.org/>

たがさぽのホームページはこちらへアクセス!

## 子どもたちの笑顔を守る! コロナ禍の放課後児童クラブ

コロナ禍での子どもたちの様子、気になりますね。  
子どもたちの居場所のひとつ、放課後児童クラブの取り組みをご紹介します。

### マスク越しでもみんな笑顔

仕事などで、保護者や同居の家族が昼間家庭にいない小学生に、授業終了後などに遊びや生活の場を提供するのが放課後児童クラブです。多賀城市内の児童館が児童クラブの運営も担い、各小学校等を拠点として6クラブあります。

3月に学校が全国一斉休校となり、再開されたのは6月。市内の放課後児童クラブはすべて、休校期間中も休まず開所。感染が拡大する不安と緊張のなか、子どもたちと職員のみなさんの安全に配慮しての運営にはとても神経を使ったそうです。

休校中も放課後児童クラブが開所していたことで、子どもたちは友だちと会い外でも遊ぶことができ、普段と変わらず笑顔で過ごせました。

子どもたちは友だちとくっついて遊ぶのが大好きですが、コロナ禍の状況を理解し手指の消毒やマスクを着用するなどこれまでと変わらず気を付けているそうです。

家にいるより、友達と遊べるほうが楽しいな。



### コロナ禍の取り組みの工夫

コロナ禍では三密を回避するため、定例の行事を中止にして、その分増やしたミニイベントの開催期間を長くするなどの工夫をしています。また、児童館に来られない子どもたちにも家庭でも楽しんでもらえるようにオンラインの活用にも意欲的です。

9月には山王小学校放課後児童クラブと天童南部第五学童保育所をオンラインでつなぎ、将棋の対局を行いました。3月に友好都市の山形県天童市から市内の放課後児童クラブに寄贈された「六六将棋風呂敷盤セット」がご縁となり実現したものです。初めての試みでしたが、参加した子どもたちは楽しんでいました。

3回勝負のうち最後に勝つことができてよかった!



お話を伺った放課後児童クラブを運営する多賀城市鶴ヶ谷児童館館長の阿久津宗久さんは、これまでイベントなどを通じてできた地域の人とのつながりや、コロナ禍で企業からたくさんの寄付をいただいたことで新しくつながったご縁を、これからも大切にしていきたいと話していました。



放課後児童クラブを運営する市内の児童館・児童センターではボランティアを募集しています。子どもと遊ぶのが好きな方、働く親御さんをサポートしたい方、ぜひお問い合わせください。

お問い合わせ先

多賀城市鶴ヶ谷児童館  
022-362-0763

## 中学生がまちを点検! 身近な防災の取り組み

多賀城市立東豊中学校では、防災教育の一環で NPOと共同で「防災マップ」を作成しました。学校周辺を歩くことから始める取り組みをご紹介します。



2016、17年度に東豊中学校は、県内各学校の防災教育モデルである「みやぎ防災教育推進協力校」に指定され、その後も生徒が主体となった防災活動に取り組んでいます。その一環として、自然災害から命を守ることを第一に県内で活動している「認定NPO法人防災・減災サポートセンター」のサポートを受けて「防災マップ」を作成しています。

防災マップをつくるために生徒たちは少人数のグループに分かれ、実際に学校周辺を歩いて情報を集めます。壁の亀裂・崖・電柱の変圧器のような危険な場所や、災害時利用できる自動販売機、避難場所として利用可能なスーパーの駐車場などの安全な場所をチェックし、集めた情報を模造紙に書いて発表しました。生徒からは「自分たちの地域について知ることができてよかった」「登下校のルートを変えた」という声がありました。

防災・減災サポートセンターの今野隆彦さんは「防災マップをつくる一番の目的は、自分の住む地域について知ることと同時に、進学して違う土地に住んだ時に生かせる基礎知識を学ぶこと。ぜひたくさんの人に、自分と自分の家族を守るためにもマイ防災マップを作り防災意識を高めてほしい」とお話しされていました。

日頃から自身の生活圏内を意識して見つめ直し、災害に備えていくことが重要です。みなさんも防災マップを作ってみてはいかがでしょうか。

東豊中学校

検索

防災・減災サポートセンター

検索

tag28号では「多言語防災マップ」について取り上げています! 右の二次元コードからぜひチェックしてみてください。



▲通学路にある消火栓。いつもの道で新たな発見。



▲チームのみんなが集めた情報を地図におとしていきます。



▲今回は学区である笠神・大代地区の防災マップをつくりました。

## お役立ちホットライン

### よりそいホットライン

一般社団法人社会的包摂サポートセンター

どんなひとの、どんな悩みにも寄り添います。暮らしの困りごと・悩みごと、外国語による相談、DV等女性の相談など。

電話 0120-279-226

対応時間 24時間対応中

web 右の二次元コードから



### 18歳までの子どもがかけられる 子ども専用電話

NPO法人チャイルドラインみやぎ

困っているとき、悲しいとき、うれしいとき、なんとなく誰かと話したいとき。子ども専用ダイヤルです。

電話 0120-99-7777

対応時間 午後4時~9時

web 右の二次元コードから

